真宗大谷派名古屋別院

2025年度 暁天講座（参加無料・予約不要）

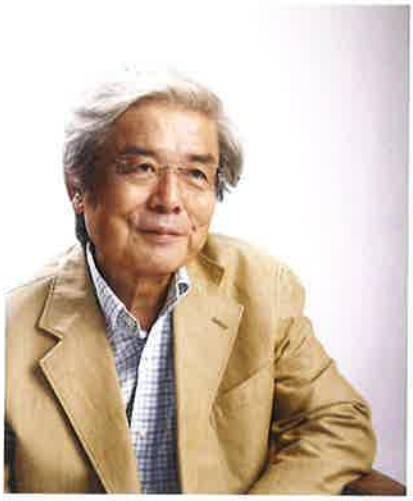
― 6月1日（日）～3日（火）―

（午前6時15分～8時ごろ）

6月1日（日）

医学博士・解剖学者

養老孟司 氏



なるようになる。

―僕はこんなふうに生きてきた―

6月2日（月）

同朋大学
仏教文化研究所研究顧問

蒲池勢至 氏

無辺の生死海を尽くす

―「訪ふ（とぶら）」と「弔ふ（とぶら）」―

6月3日（火）

タレント・コメンテーター・
ラジオパーソナリティー

北野 誠 氏

親父の自殺を
乗り越えて

場所：名古屋別院本堂

6時15分　勤行（正信偈同朋奉讃）
※6月2日は手話レッスンがあります。
6時40分　講演（70分ほど）
8時ごろ　終了

真宗大谷派名古屋別院（東別院）　☎052-331-9578（教化伝道部）

〒460-0016 名古屋市中区橘2-8-55　☎052-321-9201（代）　https://www.ohigashi.net

お東ネット　検索

2025年度より真宗大谷派名古屋別院の暁天講座は、真夏の酷暑を考慮し、6月開催に変更いたします。

―― ご聴講の方には終了後、パンと飲み物をお配りいたします。 ――

講演要旨

6月1日（日）

養老 孟司 氏（医学博士・解剖学者）

なるようになる。 ―僕はこんなふうに生きてきた―

人生は、なるようになる。これがひとまずの結論です。はっきりした目的意識があって、それに従って物事が進むということにはならない。私自身がすっかり忘れてしまったような些事が、その後の人生を動かして来たかもしれない。幼少期の最初の記憶から、虫と猫とバカの壁と出会った87年間を語ります。

6月2日（月）

蒲池 勢至 氏（同朋大学仏教文化研究所研究顧問）

無辺の生死海を尽くす ―「訪ふ（とぶら）」と「弔ふ（とぶら）」―

現代社会の中で、私たちは、どこへ向かって生きているのだろうか。生者と死者の関係はどうなっているのだろうか。
親鸞聖人は『教行信証』の最後に、「無辺の生死海を尽くさんが為の故なり」と述べられた。このお言葉をかみしめながら、改めて考えてみたい。

6月3日（火）

北野 誠 氏（タレント・コメンテーター・ラジオパーソナリティー）

親父の自殺を乗り越えて

「父の自殺を乗り越えて～死なずに生きていく～」
26歳の時に自身の父親を自殺という形で亡くしました。事業が失敗し多額の負債を抱えていたため、残された家族は田んぼや畑などをすべて処分しました。現在、年間約3万人の方が自殺をされる世の中。自身の経験を通じて世の中の人に「死んだら、あかん！」ということを一番伝えたいです。父親の自殺からいろいろなことを学びました。「死んだら、あかん！」ということ、死なずに生きていく生き方！また、知り合いが不幸になった時にはどうすればいいか？そして、支えてくれたあらゆる業界のリーダーの皆様は、こんな時にどういう言葉をかけるのかということを身体で覚えました。私が受けた不幸、私が受けた恩義を語ります。